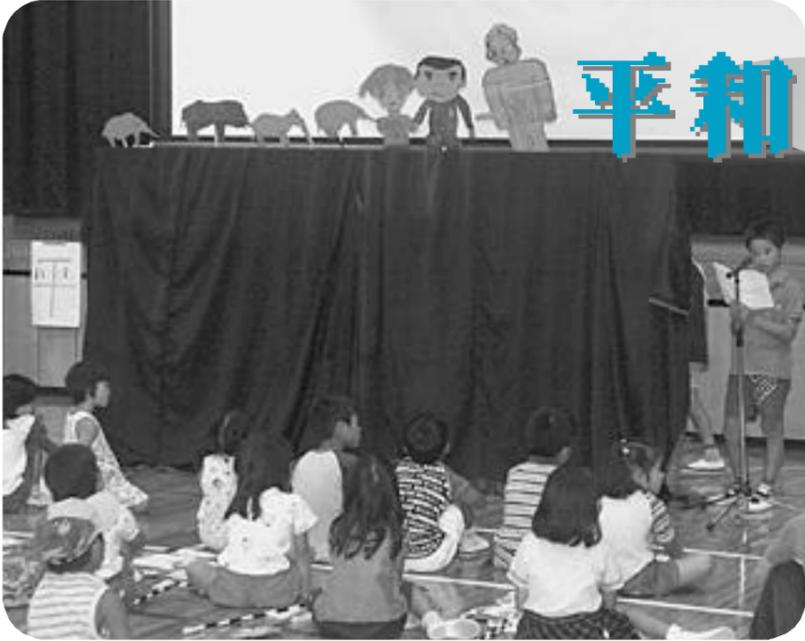


戦争の中で生きぬくぞうの姿を、ペープサート(人形劇)で訴える阿古谷小学校の4年生(平和集会「ぞう列車よ走れ」から)



平和と人権を 考える夏

平和と人権を考える町民のつどい

8月は、差別をなくそう県民運動の推進強調月間です。町では、「人権を考える町民のつどい」と題して、講演コンサートなどを開催します。ぜひ、ご参加ください。

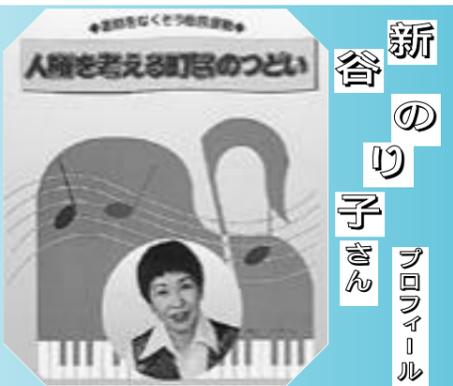
「人権の世紀」といわれる21世紀を迎え、人権確立のための新たな取り組みが国際的な規模で展開されつつあります。私達は、一人ひとりが家庭・地域社会・学校・職場など、日常生活のさまざまな場面に於ける交流を通じ、自由な発想と責任ある行動を基本に、お互いに尊重し共に生きる喜びを実感できる社会をめざし取り組むことが大切です。

本町では、木津総合会館を拠点に差別解消に向けた取り組みや会館運営を行うとともに、人権・同和教育研究協議会(猪名同教)などの関係団体との連携による啓発活動を進めています。また、本町は、

人権を考える町民のつどい

問い合わせは、木津総合会館(68・0217)へ。

平和と人権をテーマに、新谷のり子さんを迎え講演コンサートを開催します。
託児希望の方は、8月9日までに木津総合会館へ申込みください。
とき 8月18日(日)午後1時30分~同3時30分(受付・開場同1時)
場所 イナホール(小ホール)
内容 講演コンサート
講師 新谷のり子さん



新谷さんは、ベトナム戦争に心を痛め自殺したフランシーヌ・ルコントを歌った「フランシーヌの場合」でデビュー後、日本各地で戦争の悲惨さ、差別を受けている人々やハンディキャップを背負った人々の声、自然環境などをテーマに、コンサート活動を行っています。

私達が「人権」を創る主人公



町人権教育指導員 宮前千雅子さん

20世紀に二つの大戦を経験した人類は、多くの人命を失わせる背景に差別や迫害、虐殺などの人権侵害、人権抑圧があることを学びました。その反省は、人権確立は平和の基礎であるとする世界人権宣言に結実しました。21世紀を「人権と平和の世紀」にしたい！それは世界の願いです。

いものです。人権は、人間が歴史の中で獲得してきたものでもあります。男性のみに与えられていた選挙権が、今では男女が有する権利であることから、時代とともに人権の中味も変化してきたことがわかります。つまりその時代に生きる人間である私達が、「人権」を創る主人公なのです。

今月号の主な内容

- 2面 姉妹都市交流
- 3面~5面 子ども議会
- 6面 情報ポケット
- 7面 健康・福祉
- 8面 フォトニュース

この100年に日本はどんな戦争を体験した？そして今世界は？

平和を考える本を展示



図書館では、9月4日(水)まで

で、「平和を考える本」の展示を行っています。絵本から小説まで、幅広くそろえていますので、手にとってご覧ください。

その中から1冊をご紹介します。
「トットちゃん」とトットちゃんたち」黒柳徹子/著(講談社)
著者がユニセフ親善大使として訪れた、飢餓や戦火、災害、貧困に苦しむ国々とそこで出会った子どもたちのことが綴られ、私たちが当たり前に思うことが決して当たり前でない世界の現実に気づかされます。

問い合わせは、図書館(66・3238)へ。

生涯学習カレッジ“リバグレス猪名川” IT講習(初級~応用)の受講生追加募集

日程 下表のとおり
 定員 1コース定員20人(計12コース)
 対象者 町内在住・在勤者
 受講時間 A(応用)=午前9時30分~午後0時30分
 B(初級)=午後1時30分~同4時30分
 受講料 10,000円
 申込み・問い合わせは、中央公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入し、受講料を添えて同館(66-8432)へ。

IT講習会日程表

コース番号	日 程	受講時間	内 容
9	9月5、12、19、26日	A	A(応用) デジカメとワード でホームページを 作成
10	10月3、10、17、24日	B	
11	9月6、13、20、27日	A	
12	10月4、11、18、25日	B	
13	11月6、8、13、21、28日	A	B(初級) はじめてパソコン をされる人
14	12月5、12、19日	B	
15	11月7、14、15、22、29日	A	
16	12月6、13、20日	B	
17	1月9、15、23、30日	A	
18	2月6、12、14、19日	B	
19	1月10、16、24、31日	A	
20	2月7、13、20、21日	B	



新しく開設された「いながわコーナー」(写真上)と「姉妹都市庭園」(写真右)

7月15日(月)に、バラット市役所内に「いながわコーナー」および「姉妹都市庭園」が開設されました。猪名川町とバラット市の姉妹都市交流の新たな展開として、経済交流への取り組みも始めており、町の観光資源、特産品などをバラット市民へお知らせする機会として、いながわコーナーが設置されました。姉妹都市庭園は、来年度の姉妹都市提携15周年を記念して、バラット市役所の中庭に開設され、バラット市職員やバラット大学の関係者などの協力を得て、日本文化とオーストラリア文化が融合した姉妹都市交流の歴史が感じられるデザインに整備されています。記念式典では、町花のツツジとピクテリア州花のピンクヒースが真田町長とデイヴィッド・ヴェンデイ市長により植樹され、姉妹都市交流の発展を願いました。

町では、今後もバラット市との姉妹都市交流を積極的

成人式実行委員の募集

来年1月13日に成人式を開催します。この成人式の企画は、新たに成人式を迎える人によって立案していただきます。実行委員になって自分達が参加したくなるような魅力ある成人式を開催してみませんか。同級生と誘い合わせて申込みください。

対象 昭和57年4月2日~同58年4月1

日生まれの人
 募集人数 20人
 申込み・問い合わせは、8月23日までに生涯学習課(67-2600)へ。



昨年の成人式の様子

人権作文

人権問題の作文を書くにあたって、僕は何を書いているかわかりませんでした。「人権」ということをよく理解していないからだと思うのですが、学校や町でいろいろな事を取り組んでいることを思うと、とても大切なことなんだと思います。入學式で、ある先生が「おでん」の話を読みました。いろいろな人が入っています。それぞれに個性があり、それぞれ違うはずなのに、とても美しいです。クラスのみんな、学校みんなを、その「おでん」に例えられました。つまり、「みんな違って、みんな

いい」と言うお話でした。それまでの僕は自分が基準でした。自分が一番正しいと思っていました。自分の考えに合わない人がいると、とても不愉快でしたし、その人にわからせてあげたいとも思っていました。それがどこか間違っていると感じました。入學式で、あの先生の話のおかげで「おでん」のお話のおかげで

人は、みんな違う生活環境を持ち、様々な個性を持っていて、自分と違う人間がいます。意見が合わないといけない、母に注意されるのです。こんなことぐらいいやけど、僕は間違ってはいないのか？そんな時、母は僕の言い分と弟達の言い分をそれぞれに聞いてくれます。じっくり話をし、

人権問題

弟の話も聞いてみると、自分も悪かったと少し思うようになり、「ごめんな」と謝ります。そうするとまた仲良く遊べます。弟が習っている少林寺拳法の先生の話を「半分は、自分のため、あとの半分は相手のことを考えよう」と教えているそうです。戦後の荒廃した日本を立て直すという目的で、誰かが自分の事ばかり考えていては、自分勝手な利己主義を生み、かつて、日本が過ちをおかしたように、戦争という悲劇をつくるのです。もし少しでも相手のことを考えられる人間であれば、戦争のような悲劇もおきないばかりか、人の幸せをも願えるようになるのではないかと思います。

者であれ、外国人であれ、お年寄りであれ、みんなに平等に与えられた人権を大切にすることを考えると、どんな人も尊重し、敬意を払わなければならないのです。なんて書いていますが、人の欠点はよく見えて、自分のことは見えていないのが現実です。僕も自分の行動となればなかなかできないことばかりです。言葉でわかっていても、実際、相手が受け入れられず、けんかになることが多々あります。そんな時は、自分の姿が相手に映っている、自らを反省する機会をもらえたと思うように努力しています。そうやって、自分の人権も、他人の人権も守っていきたいと思うのです。

猪名川中学校 2年 三好良希くん(同校1年生のときの作品)

健美操・ダンベル体操教室(表1)

とき	9月6日~平成14年2月28日 毎週金曜日(全24回) 午前10時30分~正午
ところ	機能回復訓練室
講師	泰井治子さん
持ち物	動きやすい服装 上靴・タオル
定員	15人
参加費	13,000円(保険含)

俳句・パッチワーク教室(表2)

教室名	俳 句	パッチワーク
とき	第2火曜日 日午前10時~正午	第1・3火曜日 第2・4火曜日 コースとも 午後1時~同3時
ところ	研修室	
講師	前西一尾さん	稲垣京子さん
持ち物	筆記用具	筆記用具・裁縫道具
定員	いずれも15人	
参加費	1,000円/月	1,500円/月

室内プール利用時間(表3)

	火曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前10時~正午	-	-	-	個人A	個人A
午後1時~同3時	個人A	個人B	一般	個人B	一般
午後3時~同5時	個人B	個人A	一般	一般	一般
午後6時~同8時	一般	一般	一般	-	-

個人A = 60歳以上の人
 個人B = 障害のある人
 (身体障害者・療育手帳所持者および介助者)
 一般 = 町内在住の人

ゆうあいセンターより

ゆうあいセンターでは、健美操・ダンベル体操教室の修了生を対象に、半年コース(表1)を開催します。参加希望者(多数の場合抽選)は、8月15日までに申込みください。

また、町内在住の60歳以上の人を対象に俳句・パッチワーク教室(表2)を経験を問わず受け付けていますので、興味のある人は見学にお越しください。

室内プールの利用時間拡大
 8月に限り、室内プールの利用時間を次のとおり(表3)拡大します。

お問い合わせは、ゆうあいセンター(66-1200)へ。

ド・身体障害者手帳・療育手帳所持者および幼児は無料になりますので、申出てください。

子ども議会開催



子ども達は、日々の生活の中で、猪名川町に対して何を思い、何を望んでいるのか。

7月9日、町内7小学校、3中学校から選ばれた20人の子ども達が出席し、『子ども議会』が開催されました。子ども達にも町政に興味を持ってもらうとともに、広い世代からの意見を聴く機会を持つことを目的に始まった子ども議会も、今年で5年目になります。

今回は六瀬中学校の下村桃代さんが議長を務め議会を進行し、子ども議員達は一人一人壇上に立ち、日頃疑問に思っていることや、町への要望など次々と質問しました。子ども達は真剣に猪名川町を見つめ、様々なことに関心を抱き考えています。そのあらましを3・4・5ページにわたり掲載します。

子ども達も真剣に考えます

子ども議会議長



あいさつ
六瀬中学校 下村桃代

今回議長を務めさせてもらう、六瀬中学校の下

村桃代です。子ども議会に出るのは2度目で、できるだけ自分の精一杯を出していきたいです。各学校の一つ一つの意見をよく聞き、一緒に考えていきたいです。
この会が、猪名川町をもっとよくなり、猪名川町に住んでいる人たちをもっと住みやすくできる有意義なものになるように、みんながんばりましょう。
皆さんの足を引っ張らないよう、この議長という大役を一生懸命努めますので、よろしくお願いたします。

猪名川中学校



ベンチを増やしてほしい
秋葉美帆

散歩中のお年寄りが休憩しようとする時、座る場所がなかったり、あつてもベンチの木がくさついたり、プラスチックのベンチが割れていたりして危なくて座れません。お年寄りはもちろん、私たちも疲れてどこかに座りたくなる時があります。どうかベンチの数を増やしてください。

建設部長 喜多 護
町内のベンチの多くは、町の施設や店舗周辺、公共交通等に設置されています。本町で設置しているベンチの多くは公園にあります。ベンチ、遊具等も合わせ壊れていないかパトロールや点検、修理をし、順次整備に努めています。増設についても、利用の状況を見て対応していきます。
公園以外で置かれているベンチについては、それぞれの管理する人たちがおられますので、可能なものについては設置できるよう取り組んでいきます。また、高齢者や障害者に配慮し、公園の入り口の階段をスロープにするなど、バリアフリー化にも順次取り組んでいきます。

段差をなくしてほしい
前谷真帆



自転車通勤しているとき、段差がたかさんあり、私はその段差でこけたことがあり、とても怖い思いをしました。そこでその段差をなくすことでお年寄りの方でも安心して歩けるような道路にしてください。
助役 西村 悟
道路河川課では、これまで

から道路舗装するときには段差の解消を行っており、利用される方々の気持ちになって改善しております。
また本年4月より高齢者や身体障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことが出来る環境を整備する、バリアフリー事業をスタートさせ、日生中央駅周辺で危険な所がどれくらいあるか調査を行い調査終了後、日生ニュータウン地内で段差を解消する工事を実施します。
道路はみんなのものです。これからも、安全で安心して通行できるよう取り組んでまいります。

楊津小学校



通学路に歩道橋をつけてほしい
下村悠貴

菅尾に住んでいるのですが、片道1時間かかります。僕たちがグリーンランドから帰れるようになると、グリーンランドの友だちも、人通りが増えて安全になるし、僕たちも行き帰りが近くなります。林田橋を出た所から向かいの歩道へ歩道橋をつけて、通学路を変えてもらえませんか。
建設部長 喜多 護
歩道橋を設置するには、その交差点を通行する人数によ

って決定されます。一般的基準として、1時間当たり約100人以上の人が通行しなければ設置はできないこととなっています。通学時の通行人数は約20人と聞いておりますが、こうした状況から多少時間ばかりですが、交通ルールを良く守って、県道川西篠山線の柘原から木間生を通って通学されるようお願いいたします。また、「通学路」については、各学校ごとに児童・生徒の安全について十分に話し合っており、現状では、楊津小学校の通学路として、柘原、木間生地区を通る県道川西篠山線に沿った歩道を通るのが最も安全な通学路と考えております。これからも通学路について、より安全な通学路になるように取り組みを進めます。

学校前に歩道橋をつけてほしい



学校前に歩道橋をつけてほしい
台信 駿

学校前の信号は、やないづ橋ができてから、4つに道が分かれて危ないと思うようになりました。信号が青にかわると、やないづ橋の方からも車が来ます。万が一、事故にあった場合を考えて歩道橋をつくってください。
助役 西村 悟
歩道橋を設置するには、この交差点を通行する人数によって決定されます。先の下村議員にもお答えしましたが、一般的には、1時間当たり約1

00人以上の人が通行しなければ設置はできないこととなっています。
この町道は今年4月1日に開通しており、新たに信号機も追加いたしました。従って、通学時にはこの信号機の押しボタンを押し、青信号になったら通行するようお願いいたします。
やないづ橋から出てきた車は、横断歩道の手前で停止するルールとなっておりますが、皆さんも、よく左右を確認して横断してください。交通事故をなくすには運転手、歩行者すべての方々が交通ルールを守らないと事故はなくなりません。
皆さんも交通ルールをしっかり守ってください。よろしくお願いいたします。

六瀬中学校



北部方面の路線バスについて
台信 夕貴

私たち中学生が、部活等でバスを利用すると、六瀬から往復の交通費だけで約1000円もかかってしまいます。だから、中学生を大人料金にしないでほしいです。そして、バスの本数が少ないので、北部方面のバスの本数を増やしてください。次に、直接川西バスターミナルへ行くバスが廃止になったのはなぜですか。廃止になったのはなぜですか。もう一度復活させてほしいです。
企画部長 倉田 和夫
バスや電車の運賃については、各バス、鉄道会社が算定し国の機関である国土交通省

に認めてもらい決定しています。皆さんは、身体的に小学生と違いがあることから、全国的にバス、電車について中学生以上は大人運賃となっていますのでご理解ください。
路線バスの便数は利用にたいしている乗客数によって、バス会社のほうで決めており、バス利用の少ない路線については、運行するための費用を運賃で賄えないことから、全国的にも便数が少なくなっています。また、今まで川西能勢口行きと日生中央行きを交互に運行していましたが、いずれも2時間に1本程度しか運行されていなかったため、今回のダイヤ改正で日生中央駅を起点に統一されました。町で運行しているふれあいバスについても、より便利に利用できないかどうか、住民アンケートなどで意見を聞いて研究してまいります。